

令和2年度第1回阿南町総合教育会議議事録

日 時：令和2年8月25日（火） 13時30分から14時35分

場 所：阿南町役場委員会室（3F）

令和2年度第1回阿南町総合教育会議次第

- 1 開 会 総務課長
- 2 あいさつ
 - (1) 町 長
 - (2) 教育長
- 3 意見交換
 - (1) 阿南町一般会計補正予算（第5号）の内容について
 - (2) 中学校統合問題の考え方と今後の進め方について
 - (3) その他
 - ①学校給食費の補助について
 - ②樋口ゆみバイオリンコンサートについて
- 4 閉 会 総務課長

《出席構成員》

町 長	勝 野 一 成
教育長	勝 又 司
教育長職務代理	林 一 仁
教育委員	大 倉 康 生
教育委員	田 嶋 修

《事務局》

総務課長	伊 藤 明
総務課行政係長	南 島 剛 志

《出席職員》

教育委員会事務局長	岡 田 六 久
〃 子ども教育係長	村 山 俊 行
〃 社会教育係長	佐々木 達 也

- 1 開 会
○司会 伊藤総務課長

<13時30分>

こんにちは、本日は公私にお忙しい中また暑い中、ご出席をいただきありがとうございます。私は総務課の伊藤ですが、進行をいたしますよろしくお願いします。それでは令和2年度第1回阿南町総合教育会議を開会いたします。まず初めに町長からお願いします。

2 あいさつ

○ 勝野町長

それでは改めまして、阿南町の総合教育会議ということで、集合いただきましてありがとうございます。既にご承知の話でございますが、安倍首相も検診に入ったようでございまして、コロナコロナで個人消費が50パーセント底が支えてきたが、外出自粛で大きく変貌いたしまして、戦後始まって以来の最悪の景気となったということでございまして、このV字回復はまず不可能だろうというのが専門家の見解であります。そういった中で今、総額8億円弱の阿南学園の建設の発注を行ったところでありまして、来年の11月30日の竣工をとということで考えておる訳でございます。順に財政運営も厳しい所が増えて参りまして、いつも言うように無駄はしてはならないし、できないというのが現状だと思っております。金融機関の説明によりますと、今後、下伊那でも休業・倒産がかなり増えてくるということを言っております。そういった意味では厳しい状況になってまいりまして、2番底が来て、感染的には2波・3波ということで、秋に向かってコロナが蔓延してくるという状況の話でございます。非常に厳しい年となりますし、来年もまた更にそれが続くという状況の中では、大変な国家にとっても問題になっておりますし、今後町の財政もそうですし、全てにわたって自粛傾向だとか、割愛傾向だとかそういった物事の考え方で、処理をしていかざるを得ないというような状況が出て来ておるのが現状でございます。そんな中で今回町の補正予算を含めまして、統合問題等につきまして、また皆さんに議論いただく訳でございますが、まあ大変な時ですが、皆さんの力添えを賜りまして、何とか前へ進めて参りたいと思いますので、お願いを申し上げまして、簡単でございますが私からのあいさつに代えさせていただきます。本日は大変お世話になります。よろしくお願いします。

○ 司会 伊藤総務課長

続きまして教育長からあいさつをお願いします。

○ 勝又教育長

お暑い中出席をいただきまして、大変ありがとうございます。私が就任して初めての総合教育会議ということであります。よろしくお願いしますと思います。資料の7ページの方に、平成27年6月25日付けの総合教育会議の要綱が記載されております。当時作ったのが今居る伊藤総務課長が決めたものと思っておりますが、この会議の趣旨なんですけれども、町長と教育委員会が町の教育の課題、そういったものを共有しまして、効果的に推進していく教育行政という会議でございます。今日はその場にありますので、いくつか意見交換をするのがありますけれども、ご意見いただく中でスムーズに進めて行った方がいいかなと考えておりますので、よろしくお願いします。

○ 司会 伊藤総務課長

それでは、ちょっとめくっていただきますと、構成委員名簿ということでありますが、今日は全員御出席いただいております。それで会議自体は、この後教育委員会の定例会がありますので、2時半まで、1時間ということでスムーズな進行に勤めて参りますので、ご協力をお願いします。それでは早速ですが意見交換に行きまして、(1)の阿南町一般会計補正予算(第5号)の内容についてということで、教育委員会の事務局からお願いします。

○ 勝又教育長

本日補正予算の内容についてということでございまして、今度の補正予算を行政の方をお願いしていくということでございまして、これはあくまで教育委員会の方でお願いしているもので、確定ではありませんので、こうした補正予算につきまして、事務局の方からお願いしたいと思います。

○ 岡田事務局長

教育長から話がありましたように、確定ではありませんので、今後変更があるということですのでよろしくお願いします。

- 小・中学校 ① ICTの整備、ギガスクール構想（一人1台タブレットを計画）
学校内で使用できるものを想定
- ② 体育館のLED化の工事
工事費がいらぬ会社で、リースで支払いを7年間する会社のシステムに乗っての工事
- ③ コロナ対策で修学旅行の変更に伴う
- 社会教育 ① 町民体育館のLED化の工事
小学校体育館と同様の会社のシステムに乗っての工事
- ② 町民会館のキューピクル（屋上の屋根下に設置されている物）の更新に伴う工事
- ③ バイオリン演奏に伴う費用（演奏してもらうものを映像に収録し町民に見てもらう費用）
- 保育園 ① 和合地区の園児の増員に伴う送迎費の補助金の増額
- ② 大下条保育園の屋根の雨漏り修繕費

というような、要求してあるものの説明ですが、よろしくお願いします。

○ 勝又教育長

これについては是非、これからヒアリングとかあり、検討して頂きたいと思います。ICTについては義務化ということもありますので、これについては、当初予算の方で要求はさせていただいてはおったんですが、学校との関係とか、他の町村との兼ね合いとかあったので、もう少し検討したらということまで今回に至ったものでございます。学校で補助金を伴ってそれ以外の地方公共団体が負担するものについて、コロナ交付金の対象になるということもありますので、是非検討して頂きたいと考えます。ただ局長からも話があったんですが、今の段階では、家に持って行ってまでのことは考えていません。まず学校で先生の授業の中で教えるというところから、やっていってほしいということでもありますので、またうちでもできるというのは、できないことは無いんですが、環境や通信費の関係とかの絡みがありまして、たとえやっただとしても補助金の対象にはなりえないものが多いということもあって、後から検討してやってもいいのかなという気がしますし、どうもリモートよりも対面授業の方が、子ども達にとってもいいというふうに書かれておりますので、そういうようなことで、学校で使うという位置付けで、阿南町はしていった方がいいんじゃないかという考えがあります。

次に出ておりました関係ですが、社会教育のキューピクルですが、下へおろすということで、どうなるかわかりませんが、もともと撤去する方向ではおったんですが、維持をいつにするかということもありますので、今回検討させていただいたということでもあります。

【意見】

- それは新車を設置しんならんのだら。
- 新しい物を設置して、古いものの中身を撤去するということ。
- あれはいくらくらいかかったか。
- 薬剤だかを捨てるということで
- 薬剤だけだと100万円くらいはかかります。大きさによっても違います。
- そのままにしておいちゃいかんのか。
- 変圧器の中のPCBを片付けちゃった方がいい。
- 令和4年だか6年までに撤去しなきゃないと、たぶん一生撤去出来ない。
- あとバイオリンコンサートの件は後程詳しく説明をしていただきます。
- 今7つほどあったんですが。
- あと一つあるんですが、先ほど分かり辛かったと思うんですが、LEDの関係でもう少し理事者と詰めてからと思ったんですが、LEDの工事は業者がやってくれる。その費用は事業者が持つ、その代わりに使用料として7年間使用料を払うということで、高森町の方では、既に7月に町民体育館をやってもらっており、何がメリットかということ、向こうは実績が欲しいということで、阿南町へ来て「どうだ」ということでです。高森町は既に7月やったということです。もう少し探りを入れなければいけないと思うんですが、安く上がるんですけど
- 八十二リースなどでやっておるが、リースのやつか。
- それとは違うやつだ。
- いくら払って行って7年かそこらでチャラだというやつか。
- それでおひさま新歩で街灯をやったじゃないですか。防犯灯を。あれといっしょで、そういう会社です。ただ、もともとLED化しようと思っていた矢先だったので、乗ってもいいかどうかという話があって、そんな事も検討しておるということです。
- 学校関係では体育館が残っているだけ、後は済んでいるの。
- 教室については残りがあと約4割です。普通教室から優先してを進めていますので、使用頻度が少ないないとか、ローカだとかが残っています。今回体育館をと出たのは、水銀灯の精算が今年いっぱい止まってしまい、あとは在庫対応となった時に、そんなに長くは残らないということで、今のうちにLEDに変えて行きたい、ということがあります。切れたとしても材料が、輸入も禁止でなくなってくるので、体育館をまずやっていきたいというのと、工事費が高所の作業になるので、その辺の技術的なことだとかが蛍光管と違って難しいので、そういう話があったので、今会そういう話しで伺っています。

- 思うんだけど、やってもらった時に下せる仕組みはできんのか。工事に合わせて。
- 昇降装置を残したままやるという方法があるということで提案は受けている。
- 時代が新しくなってきたでそれができると、ふれあい館かどこかやって、ワイヤーで降りてくるようになってるが、足場組まんでもいいように、そういう仕組み作りはできんか。どうせやるときには。また足場組まにゃ行けんということになる。どのくらいかかるか知らんが。
- 何タイプかあって、完全にワイヤーでくくって降りてこないものとか、既存の安定期を使いながらやる方法だと、ワイヤーを活かせる方法があるという説明がありました。
- それを研究してみてくれんか、設計屋とも。そうしないといくらLEDだって、何かあればまた天井まで足場組まんならんのだに、天井まで。
- LEDにするからそういうことは無いんじゃないか。何十年に1度でいいと言われるものもあるので。そこまで検討してみますし、今度のその業者はそこまで面倒を見てくれるとは限らないので。
- ただ全面足場をはらなくてもいい方法がとれますと言っていました。交換するときにも可能じゃないかと思っています。
- 簡単にできればいいが、何しろ何やるにも足場代にとられちゃって、えらくてしょうない。図書館の樋を直すんだって、あれほど足場を組まなきゃならんのだ。
- 情報を収集して理事者の方に相談していきたいと思います。
- 新野小の体育館だけは治っておるかな。
- あと二中ももう変えました。あそこは低かったんで、町内の業者でも施工が可能だったので、二中が一番低いんです。
- そうすればあと4校か。
- 町民体育館はもう変わっているのか。
- 変わっていませんので、ぜひ同じ機会をお願いします。
- 司会
それでは補正予算の方ですが、教育委員のみなさん今の7件ほどありましたけど、何かございましたら。
- 質問ありません。
- 司会
それでは次の(2)で、中学校統合問題の考え方と進め方ということでよろしくお願いします。
- 今後の考え方ということですが、3月9日新野で、10日和合、11日に大下条、12

日に富草で行う予定でありました。教育環境に関する地区懇談会を予定していましたが、コロナの関係で中断となっております。今後もこのコロナウイルス感染拡大防止のため、今後も延期せざるを得ない状況である為、この機会を利用させていただきまして、私の方でまずは議会に、確かに議会の方へは、12回ほどあり方検討委員会の報告はさせていただいておるんですが、報告というようなことでありまして、具体的にこういうような状況になって、例えば複式学級になった場合、デメリットやメリットもあると思うんですが、今回議会の方でも考えていただきたいというようなことで、今度の全協の方で提案させていただきたいという考えで居ります。それで、今まで議会の方に出してきた資料を、17年の10月31日からの統合問題の経過を、まとめさせていただいたので、この資料を配りまして、コロナで他の人を集めることはできないので、議会の方で協議をさせていただいて進めて行きたいと考えています。地区懇談会については3月の時点で延期にした経過があるので、あえて今やるとなぜその時にしなかったのかとなってしまうので、その間紐を解いて、前の教育長さんも今度は議会の方でも考えていただきたいと、そこで終わっていますので、今度は具体的をお願いしていきたいと考えていますのでお願いします。

○ 司会

これについては特にありますか。

- 各地区の懇談会につきましては、今教育長がおっしゃられたように、この状態では再開するのに賛同は得られないし、やるべきではないと思います。ただし、今までの地域への説明会及び、保護者への説明会の中で、正直申し上げて新野地区の強い反対があったのも事実ですので、今後はポイントを絞った話し合いを、どこかでやっていく必要があるのかと思います。逆に言うと新野地区以外のところは、非常に淡々とした受け止め方をしていますので、おそらくその温度差があったまま話を進めることはできないですから、どこかでそれを解消するための考え方の提示だとか手順を考えないと、進んで行かないのかなと思います。

もう一つは、統合をするのならどのような条件下で、どのあたりでやっていくのがいいのか、3年後がいいのか、5年後がいいのか、8年後がいいのか、そのあたりを目途としては出すのが、町民を説得する上で必要になるのかなという気がします。

- 思っていたんですが、スケジュール的なものを町民の皆さんに示さないと、これまでやって来た会議が今日はどういう趣旨なんだとか、どうして役場の人たちが来てないんだとか、趣旨が伝わってない節があったので、林さんのおっしゃる通りだいたいどれくらいまでの時で、この時期までにこういう会議をしていくのを、今までそういうのをなかったの、ちょっとそこは失敗したのかなという気もするが、そういうのを示さないといけなのかなと思いました。

- 司会 ありがとうございました。どうですか。

- 私の方では、議会の方でもんでいただくということで、問題ないと思います。統合方向ということは、あり方検討委員会の答申を受けて、私の耳に入ってくるのは、大方の理解ができないということで、新野の方は特に。一番わかりやすく言うと、例えば中学を二つやるお金が無い、だからどうしようという話なら分かるというのはよく聞きます。だから今度説明をするのなら、その辺がポイントじゃないでしょうかということです。

- ただ今までの説明の中では、まずは子どもを中心に考えたときにお金ではなくて、子どもにとって何がいいだろうということで、進めていたという経過があったので、お金のことについては前教育長の話では一切触れていない。それを言うとお金のために動いていると思われても行けないので、あくまで子供中心のためにどうすべきか、ということで進め

ていたという経過は聞いています。今後そういう事が必要とあればやっていかなきゃいけないとかは思いますけど。

- 意識的に確にお金のお話は出さずにしてきました。一応シミュレーションは教育委員会の中では行われておりますので、かなり具体的な内容を提示しようと思えば、できる準備は出来上がっています。ただ、先ほど教育長の方から話が合ったように、南嶋教育長はあえてお金のことは触れずに行こうというのが方針でしたので、私たちの説明会等の席では、資料は持っていましたが、一切そういった説明は避けてきました。今、田嶋委員のお話を聞きますと、やっぱりそこに来て住民のみなさんは、お金の話は相当に気になっているんだろうなという気はします。逆にお金の話に特化すると、説得性がひよっとするとあるのかもしれない。何千万というお金が変わってきます。今後、議会の方へも教育長から問題提議と経過説明をする中で、おそらく議員さんの中からその話が出ると思います。お金の話が。それを明らかにすることで交渉がスムーズに進むのであるならば、今、田嶋委員が言ったように住民側に説明をするのも、考え方の一つだろうなと思っています。

- 難しい所だな。お金がかかるで変えるのか、それでは廃止するのか。というように中には言う人がおりやあせんかと思う。それは難しい所だと思う。まあもう少し検討しながらやらんと、それで出しちゃうとそう言った言い方で、正直言って教育委員の方もおりますのでご理解を賜りたいと思います。私になってから議員の方には、提案説明をしっかりと申し上げて、ご理解をしっかりといただいた上で本会議に臨んでいただく。時間がかかり議会にかかる時間を取っていただくように方向付けをしてきた。だから今回の7月の臨時議会も8月の臨時議会も、町長の専決案件でやっておけばいいというやつを、議会軽視になるからダメだ、集まってもらう。ということで9月の議会があるにもかかわらず、8月も臨時議会をやらせてもらう話しなんだけど、そうはあっても災害のように、やってみたら指令前着手を予算が付くかつかんか分からんという、バクチのようなことを災害も発生してくる。それでも丁寧なやり方でやってきている中では、一つ間違うといろいろな火種になってしまうし、難しい部分も俺にはある。そういった意味では今言ったことについても、よく検討をしながらお話を申し上げて行かないと、今この418号が福島で全面通行止めという回路があった。そしたらアシデで山の天井からすだって通行止めになった。そうなのも天龍村平岡と神原村の問題は取れていない。天龍の永嶺氏もそこを気にしているんだが、教育問題で火種を作ってしまったという頭がある。新野へ向方の衆が来ているが、ああいったことで非常に。田舎だからか、田舎であるがためにそうした旧村単位の間隔が、どうしても抜けきらないところがあるのかな。我々のところでも海拔420から900までの間で、これだけの地の利・地形が違う中で、余計に物理的にも難しい所があるんだなと、よく感じるが。よくやるとなと言われたが、最初は何の話か分からなかったが、やって来るとよくわかる様になった。間違っただけかということ、常に付きまとっている、十分に腹の中へ納めさせてもらって、検討しながら深めていきたいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。

○司会

それでは次に行かさせていただきたいと思います。その他として、学校給食費の補助についてということで、教育長の方からお願いします。

- 学校給食費の補助ということで、7月の定例教委でも言わせてもらっていたんですが、町長の意向とすれば、今半額の補助であるが、これをもうちょっと負担の額を少なくしていきたいという考えがあるので、すぐではないが来年の4月までにできれば、それまでには議会にも図って、承諾していただけるように進めて行かなければいけないということで、これについて検討してほしいと来ておりましたので、今日局長の方から概要の方の説明をさせていただきながら、あと町長の考えの方を聞かせていただければと思ってお

りますので、よろしくお願いします。

○ 司会 それでは局長をお願いします。

○ 岡田事務局長

今のお話のように。町長の思いにより一つの資料として出しましたので、説明申し上げます。

＜保育園の副食費の現状と補助案の説明、小中学校の給食費の現状と補助案の説明、飯田下伊那の近隣町村における給食費補助の施策の状況の資料の説明＞

○ シミュレーションの中で「9割補助」と書いてありますが、決して負担金が1割と決まっているわけじゃなくて、1割から2割の負担額でという考え方ではあると思いますので、ただ9割というのはシミュレーションということでご理解いただきたいと思います。

○ この提案については俺自身から教育委員会へ提案した話ですが、頭の中には全ての人がそういう訳ではないが、割りあい「義務を果たさず権利ばかりを主張する」いろいろな仕事の中で、行政もそうした場面にもぶち当たっておりますが、しよってもらう部分もあって当然だし、また行政は行政として少しでも町民のためになることで、協力をしたりしにゃあいかんということであると思いますが、日本の国家を世界の国々と比較すれば、いい制度でいい国だという感じ方をしているが、ある部分の傷みわけでは、しよってもらう事も必要なんだろうな、何でもかんでもタダがいいという話しは、益々、社会や日本国家をダメにしていく考え方だと思っているので、どの程度補助するかは今後の検討なんです。既に5割補助はしておるんですが、他では100%補助から始まっているいろいろ出て来ております。当然少子になっていく中ではそうしたこともできるところも出て来ておりますけれど、一番私が気にしてきたのが、学校の栄養士の先生や学校の先生方も数年で異動されていく、よってそこまで言及をして、いろいろ申し上げてくれるきつい所はないんですが、ある部分田舎の商店が少ない中で、一番大事な成長期の子どもの給食の資材について、「あまりにも品質やレベルが低すぎますよ」しかしながら町長の命令で、「町内の店を使いなさい」という。100%ダメだとは言わんがまかり通っている話で、その反面それに携わってご努力される皆さんからは、「残り物を持ってきて学校給食に与える。この地域はどういうところですか。」つまり、言い換えれば商店の甘えもある。それは他の職種でもそうですが、他の方もわかっております。こと子どもの成長期に食べさせる食事について、そういう在間であってはならないという頭があったので、補助を引き上げることで100%とは言わないまでも先ほど言ったように、義務と権利の部分も維持しつつ、そういったところの改革もしていけないと、成長期に品質のいい食材を提供できんようではまずいな、ということで、これはやはり競争の原理で、いいものを安く頂けるところをご利用いただくことに考え直さなきゃいかんのではないかと。いうことになりますと、当然自分の地元の、阿南町の商店にも影響が出てくる話になりますので、町長に反旗を翻して「何だ。」という話しも出て来るわけですが、そうした時にいわゆる義務と権利の関係で、毎月の給食費は通常どおり納めていただくけれども、その補助分を町内にしか利用できない商品券に代えて、保護者へ渡し、保護者も町内の商店で使い、子どもに自分たちの目で選んで、いいものを食べさせてくれれば、町内の商店も影響を受けたとしても、その分はそこで補填をしてくれればいいのではないかと。という考え方。この間のコロナウイルスの2万円は大変好評をいただいて、おほめのことばをいただいたんだけれども、お金で出して居たらほとんどが飯田の方へ流れていたと思うんだけれども、地元約1億弱を落としたということで、非常に助かったという商工業の衆のご意見。興亜に働いておる皆様もそのことで自分の家庭の食事に、それを使って地元で使ってもらって無償で使ってもらったということもあり、また逆に企業でお勤めでない皆さんも、いままではそういう事

は無かったので、和合の皆さんもそういう商店へ行って、食べたり買い物をしてきたり、それからまた商店自体もそういうことで厳しい所を乗り越えて、まあ全てがそうではないですが、俺自身としては地元を大事にせんならんはなしであるけれども、もう少し言えば、商工業者も地元であり、子ども達も地元であるがゆえに、それをどういうふうに考えればいいかなあ。と考えた結果が、8割補助にしる何割補助にしる、その残りの3割分なり4割分は、更に町長が厳しい姿勢になったことで、飯田の方よりいいものを安く入れる栄養士や学校側の方針が出たとしても、それはそれとして、子ども達のために努力をしていただかにゃあいかんし、町内の商業者もそれに甘んじては困る。しかしながら影響が出る。従って今度は地元も焦点の皆さんに恩恵がある様に、保護者に町内使用の商品券補助をしてやったらどうかと、そういう考え方から出てきた話です。

○ 司会

考え方を話していただきましたが、ちょっと時間もないんですが、今の考え方に委員さんどなたかお一人の方で、ご意見等あればですが。

- この話はまず教育委員会の中で話をする中で、議会の方へも当然9月ありますので、補助したいということをして話して参ります。今後は事務局の方で、町長から今商品券とかいろいろ、率の話も出ましたが、教育委員会の事務局の方で提案させていただきながら定例教育委員会の方で、ご意見を頂いて築き上げていき尚且つ、議会の方へも提案させていただきたいという考え方で居りますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

- 給食センターの栄養士さん等の話を聞くと、「切って割ってこれでは無理でしょう。お持ち帰りください。」というのが、町内の商店に結構発生しておるといふ。「それはあまりにも無理じゃないですか、売れ残ったものを持ってきて、片付け仕事で学校給食をとらえられて居ってはこまりますよ。」と、「子ども達を預かっている食事の部分は大事なもので、責任は私にはありますから。」ということも発せられております。そうした意味合いで、その部分については、ある程度、競争の原理を働かせて、成長期の子どもにはそれなりのものを提供いただかにゃ困るな。というのが考え方です。

○ 司会

それでは最後に行つていいですか、樋口ゆみバイオリンコンサートについてお願ひします。

- バイオリンコンサートについて、本来コロナがこれまで長引くと思つていませんでしたので、今後まだ収まるという状況ではないというなかで、文化会館で町の小・中の生徒を集めてコンサートを聞いていただきたいという企画をしておりました。ところがこういう状況の中で、町内の子どもを集めて行ふというのが、果たしていいかどうかということで考えまして、町長は是非子どもたちに聞かせてやりたいということで、正直な所校長先生にもお聞きしたんですが、ある校長先生はこういう機会だからいいんじゃないと、あくまで個人的な意見だったんですが、大方の校長先生は、こういう時期だから、それに今まで学校を休んでいて、行事がしわ寄せが来ちゃっているのと、10月25日に予定していたが、この日は休ませてやりたいというようなことを言われまして、また社会教育の方では、感性と創造のフェスティバルとか駅伝大会とか、行事関係は無くしておる中で、やるといういろいろあるんじゃないですかといういろいろ心配して、開くのはあきらめるというようなことでいたんですが、それでも聞かせてあげたいということで、できれば演奏のところをビデオに収めて、それを生徒に見せるというそうしたコンサートはできないかということで、町長の方で直に出演者に交渉していただいて、それが可能でありテレビで流してもいいとこぎづけましたので、その予算を今回補正の方で計上させておるということで、また今後ビデオ撮りから始まって、いつ行くかと詰めるんですが、こういった「樋口

ゆみバイオリンコンサート」を、そういう形で行いたいというのが趣旨でございます。係長の方からどうですか。

- 警察の方で一回やっていただいております、非常に素晴らしいということで、是非。
- あの平安堂あたりにもCDが出たりしているが、プロで有名なバイオリニストなんです、たまたま警察署長と縁があって、ただ同然のようでした。東北の震災の時も東北へ出向いてやってくれたりして、阿南町もこうしたソフト的な所はあまりなくて、毎回決まりきったことをやっておるし、私自身も警察で聞かせてもらったんですが、非常に素晴らしい、前座だか前々座だかがNHKの真田丸の演奏をしておる方のバイオリン、そこらで頼める方ではないし、こうした一線級のものを聞いてみることも大事なことで、子ども達にということでは率先してきてくれると言っているし、早くから10月24日ということで準備を進めてきておったんですが、コロナの状況の中で実施は無理じゃないかということで、学校側からもご意見を頂き、本人ともお話をさせていただいたんですが、そういうことであればテレビ局の放送カメラを扱う人間がおりますので、そのカメラで撮影をして、CATVでも放送するが、それを一人ひとりにCDを作って子どもたちに手渡しても結構ですと同意をいただいたので、高崎ですがそれをどこを借りてどういう撮影になるかわかりませんが、そういった形のものを作って、今年はほとんどのものが取りやめ取りやめとなってきておりますし、一つの思い出としてもらえればいいのかと思って。アメリカのホワイトハウスだとか、フランスのカーネギーホールとかで弾いて、そういうところでやっている方があります。そういう経過であります。
- 司会 どうでしょう。
- 病院でコンサートとかやっているよね。
- 著作権の問題とかで、流すとかになるとなかなか難しいんだけど、本人に町長が話しをしてくれて、「いいですよ。」ということだったので、そんなことを予定しておるといことで、お願いしたいと思います。

4 閉会

- 司会

それではちょうど時間ちょっとということで、短時間ですけど意見を頂きましてありがとうございました。これで本年度の第1回の総合教育会議を閉じたいと思います。ありがとうございました。

<14時35分>